

南部小学校は、昭和46年に現在の場所に開校し、平成31年度（令和元年度）には、創立49年を迎えました。本校は、世界遺産「平等院」や「お茶の名所」で知られる宇治市に位置し、校区には、豊臣秀吉が宇治川を改修するために築いた堤防「宇治川太閤堤跡」があり歴史的にも重要な位置にあります。

本年度は、1年生68名を迎え、全校児童448名のスタートになりました。本校では、東宇治中学校 三室戸小学校、岡屋小学校の3小1中学校の連携の下、「命を輝かす人間」を目標に9年間を見通した教育を推進しています。そして、「心身ともに健康で、自主・自立の精神に富んだ創造性のある児童の育成」を学校目標にし、様々な特色ある教育活動を通じて、確かな学力をはじめ、「真の生きる力」を育んでいきたいと考えています。

本校の校章は、「児童」・「保護者」・「教師」の三つの輪（和）がしっかりと組み若葉（児童）がスクスクと育つことをイメージし、南部小学校の南を中央に配し、名産お茶の実と葉を表現しております。校章のごとく、ふるさと宇治に育ち、将来の担い手となる子どもたちの育成のために、本校教育活動をご理解いただき、暖かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

宇治市立南部小学校 校長 三上 誠一